

夢みるこども基金だより



平成20年11月1日
2008 No.13

www.standbyyou.com / yumemirukodomo

発行: 夢みるこども基金事務局

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-6赤坂Sビル2F

☎ 092-751-0021(代) FAX 092-751-0249

✉ yumemirukodomo@standbyyou.com

地球を守れ!! こどもパワー結集

第14回イベント

「地球を守るために『こども隊』出動」佐賀県唐津市
「環境こどもサミット」福岡市



雨の中で松葉掻きをするこどもたち(唐津市の虹の松原で)

夢が広がる「こども基金の森」づくり

「環境こども新聞」を発行!!



地球環境保護を掲げた夢みるこども基金の第14回イベントが8月9、10の両日、佐賀県唐津市と福岡市博多区で開かれました。全国の小、中学生から寄せられた「わたしのかなえたい夢」の作文・絵4363点のうち約3割が地球温暖化防止と地球環境保護に関するものだったため、春のこども会議で夏のイベントは環境をテーマにすることを決めていました。

イベントのタイトルは「地球を守るために『こども隊』出動」。こどもたちは行動の第一歩として9日は唐津市の国の特別名勝・虹の松原国有林で林野庁職員などの指導で松葉掻き(か)きなどの林業作業を行い、自然の大切さを実感しました。

また、基金のイベント参加者で組織する「夢みるこども基金OB・OG会」のこどもたちの手で「環境こども新聞」を発行して、全国のこどもたちに「地球を守る」と呼び掛けることも決まりました。こどもたちはただちに新聞作りに取りかかり、企画から取材、執筆まで、文字通りこどもたちの手による環境こども新聞第1号が10月7日に創刊されました。

基金では環境保護をこれまでの「バンク・ラッシュ」での「夢みるこども基金学校」の建設・支援、盲導犬「はつくん」の贈呈に続く活動の3本柱として位置付けて長期的なキャンペーンを展開して行くことになりました。

こどもたちはOB・OG会のこどもたちばかりでなく、全国のこどもたちにも環境こども新聞やこども基金の森づくりに加わってもらい、環境保護のこどもパワーを力強く、大きく広げて行こうと意気込んでいます。

イベント当日

開会セレモニー



開会の挨拶をする
中村直理理事長代行

イベントの本番は、福岡市博多区の福岡明治安田生命ホールで開かれた。午後1時、イラストの部最優秀賞の福岡県高取小学校5年坂口まりあさんが「世界中には今日一日を過ごすことが精一杯のこともたちがいる中で、夢を持つことができるのは当たり前ではなく幸せなこと。一人でも多くの子どもたちが明るい笑顔になりますように」と世界の子どもたちの幸せへの願いを込めた開会宣言でスタートしました。

司会はFBS福岡放送の古賀ゆきひとキャスター。中村直理理事長代行（福岡県歯科医師会副会長）が「今年の応募作品からは、こどもたちの地球保護の意識の高さが感じられた。環境問題に取り組む基金の第一歩の年として、みなさんと一緒に立ち上げていきたい」と開会の挨拶をしました。

寄付目録贈呈ではネパール歯科医療協会の、福岡・ネパール児童教育振興会、バングラデシユ「夢みるこども基金学校」の3団体の

代表に計90万円が贈られました。その後、基金から贈られた盲導犬「はつくん1号」の紹介があり、ユザーの脇崎恵子さんが「はつくんはもう5年8か月のパートナー。今は心技一体で、なくてはならない存在」と嬉しそうに語り、感謝の意を述べました。「はつくん2号」はユザーが病気のため出席できませんでした。

今までの13回のイベントをまとめた約10分間のVTRが会場に放映され、みんな長い基金の歴史を感じ、過去のイベントにも興味津々といった様子でした。自分もまた、この基金のこどもの1人として、新しい基金の歴史を作っていくんだ、という熱い思いが感じられました。

今年の作文の部の最優秀賞は東京都・六本木中学校2年の富田光君。妹の障害を通して学んだことや、家族の愛の大切さを書いた内容でした。都合により欠席だったため、昨年のイベント参加者である福岡県城南中学校2年の堀江健一郎君が富田君の作文を代読しました。「障害があるから何なんだ。自分の妹に代わりはない。僕等家族に愛されている妹は幸せなのだ」と障害者というくくりで見るとではなく、人と向き合うこと、家族に感謝することが大切だ、という作文に会場に温かな空気が流れました。

エコ活動の報告多数



環境への取り組みを話し合うこどもサミット

壇上で参加のこどもたちの紹介が行われ、続いて今回のイベントの中心である「こどもサミット」がスタートしました。コーディネーターは基金理事のアグネス・チャンさんとJR東海・課長の中原淳一さん。ここでは、こどもたちが考える地球環境保護をテーマにさまざまな意見が出されました。話し合われたのは3つ。①身近な環境の変化について②環境保護のために自分たちが行っていること、

またこれから出来ること③基金の森をどんなものにするか。

身近な環境変化については「ハチの数が減った」「セミの鳴く順番が変わった」「夜の気温が高い」等の意見が出た。また、自分たちが行っているエコ活動についても数々のおもしろい意見が出ました。東京都東横学園中学校3年の岡部達美さんは「私の家では、週に1回電気を使わない生活を9年間続けています。その日は電気、クーラー、テレビを一切つけず、明かりはランタンで代用。始めたきつかりは、祖父母から電気がない戦時中の話を聞き、自分も疑似体験をしてみようと思った。でも、今では地球温暖化の防止にもなることを知り、地球に優しい日にしよう」と、家族の間では「エコの日」と名付けて続けています」と家で実際にやっているエコを紹介し、会場からも驚きの声が出ました。その他にも、「家中の電気をこまめに消してまわる」「牛乳パックのリサイクル」等、自分たちが出来るエコは何かをみんな積極的に案を出していた。アグネス・チャンさんも「毎日かばんに組み立て式の『マイ箸』を入れて持ち歩いている。これを持ち始めて割り箸を一切使わなくなった。周りの人にもプレゼントしてみんなエコ活動を広めている」と紹介しました。中原さんも終始、こどもたちに優しくわかりやすく語りかける中、環境問題は我々人間の『知恵と英知と勇気』で解決していかねばならないと呼び掛けました。

「こどもの森に夢が広がる

また、「こども基金の森」づくりについても古市悟事務局長から説明があった。佐賀県内の国有林数軒を林野庁が基金に貸与してくれという話が出ていることが明らかになった。その基金の森をこれからどのような森にしていこうか意見を求めたところ、「ハンモックを作りたい」「木で作った遊具を」「ログハウスに基金記念館をつくらどうか」「鳥の巣を作りたい」「池を作りたい」などの案が多く出ました。こどもたちが自然と自由に触れ合える場所であってほしいというコンセプトから計画された「基金の森」づくり。これからどのような方向でかたどっていくのかをこどもたちの案をふんだんに盛り込みながら、検討していく予定です。

手話ダンスなどでステージ盛り上がる

第2部は舞台でのさまざまな催し物が続きました。北九州市門司港の名物でもある「バナナの叩き売り」。北九州市のバナナの叩き売り保存会の3人が出演し、バナナのたたき売りの「口上」を披露しました。こどもたちは始めてみるバナナの値段交渉を交えた口上に圧倒されていた様子でした。続いて、福岡市で活動している「劇団きらきら」による劇「大きな木」。この「劇団きらきら」は



観客を圧倒したバナナの叩き売り

障害を持つこどもを中心に結成され、自分たちが精一杯体を使って演じることで観客に感動を与え続けています。演劇の内容は「大きな木」とある少年との一生の関わりを通して、人と木との交流を描いた内容で、劇が終わると会場からは大喝采が起きました。

また、手話ダンスクラブ「YOU & I」からは総勢52人による手話を交えた5曲の歌の披露がありました。「YOU & I」はこどもから大人までのクラブで、手話で歌を表現し、体でリズムに乗ることで、聴覚障害者を初めとするさまざまな障害を持った人々にも歌やダンスを楽しんでもらえます。施設や病院への慰問活動も行っており、簡単な手話をすぐ習得した会場のこどもたちは、指で奏でる歌にとっても興奮していました。最後は、おなじみの曲「かえるの合唱」を会場全体が手話で輪唱し、盛り上がりました。



手話ダンス教室のこどもたちによるダンス



感動を呼んだ障害を持つこどもたちによる劇

第2部の締めくくりはやはりアグネス・チャンさんの歌。「草原の輝き2005」「そこには幸せがもう生まれているから」「ピースフルワールド」の3曲を熱唱し、会場を沸かせました。アグネス・チャンさんは、昨年自身が乳がんに罹ったことの体験により「生きていくことは当たり前ではない。病氣から2度も回復し、授かった命を大切に、今こうして生きていることへの感謝の気持ちを歌を通して世界中の人に届けていきたい」と語り、平和への祈りを込めて作られた歌「ピースフルワールド」では、会場の人々も涙を浮かべながら聞き入っていました。

また、アグネスさんは、最後に「環境問題は今私たちが食い止めねばならず将来の問題でなく今の問題。先日の中国四川省地震被害でも感じたが、これからは災害に強い子を育てるべきと感じた。世界中に明日の日の出が見られない子、親の顔を見たことのない子、満足に

できることから
はじめよう



熱唱するアグネス・チャンさん

食べられない子が沢山いる。でも諦めないで一生懸命に少しでも長生きしようとするこどもたちの笑顔がそこにある。幸せな日本に生まれたことは偶然ではなく、何かをするために生まれてきている。「ピースフルワールド」の歌詞にもあるが、『できることからはじめよう。一歩ずつ踏み出せば何かが変わる』。こどもは素晴らしい。大人が考えない夢、とんでもない夢、実現しそうな夢を言う。でもそれが進歩に繋がって世界を変える可能性を秘めている」とこどもの夢を育てる夢みるこどもキャンペーンを大事にしていきたいと熱く

緑化の計画

環境こどもサミットを受けて、基金事務局では具体的な行動計画を検討しているが、緑化事業として下記の3案が浮上している。

- ①福岡市内の公園の一画にサクラの植樹
- ②佐賀県唐津市の唐津城西側の市有地約400㎡の貸与を受けて、マツの苗木約100本を植えて「基金の松林」にする
- ③林野庁から佐賀県内の国有林数畝の貸与を受けて「夢みるこども基金の森」をつくる

以上3件については、福岡市、唐津市、佐賀県森林管理署と協議を進めています。来年3月の「こども会議」までには具体的な計画をまとめ、なるべく早く実行に移す予定です。

語ってくれました。

このあと、岡部達美さん（東京・東横学園中3年）と佐藤元吉君（大阪・松原中2年）が「私たちに傷付けられた地球は、私たちがこれから誠実さを示せばよみがえってくるはずですよ」とのこども宣言を読み上げました。

夢みるこども基金のOB・OG会長で基金理事の長尾啓泰さん（九州歯科大6年）が「夢みるこども基金が、こどもたちにとって、家、学校に続く第3の場所であって欲しい」と思っている。日常と違う場所、新たな自分との出会いを通して、新たな自分を発見できる喜びを大事にして欲しい。基金を自分が帰った時に夢みるこどもだった自分に会いに来て下さい」と閉会の挨拶をして約3時間のイベントをしめくくりました。

イベント前日

松葉掻きに歓声

初日の9日、こどもたちは唐津市の虹の松原国有林で松葉掻きの体験をしました。国有林は日本の国土の約3割を占めており、佐賀県内の国有林は約1割といわれて



こどもたちに森林管理について説明する林野庁職員（右）

います。虹の松原もその一つです。参加したこどもたちの中には、森に入ったことがない子も多く、初めて踏み入れる森の感触、夏を感じさせないその涼しい空気に、まるで夢の国に入りこんだかのような顔の輝きを見せていました。佐賀森林管理署の森林ふれあい係長

である古川祐美さんからこどもたちに松林の管理についての説明がありました。「松は痩せた土地にしか育たない。手入れをしないと生態系の乱れが生じ、土地が肥えてしまい、森が保たれなくなる。人の手が加わってこそ保たれる森もある」。環境は人が汚れている―森林は人の手で侵されている―そう思っていたこどもたちはこの意外な事実にとっても驚いていました。人と自然、お互いに持ちつ持たれつの関係であること、共存の意味を、実際に森に触れたことでこどもたちは何かを感じ取ったようでした。

バーベキューで交流

前夜祭の恒例ともなりつつある、野外でのバーベキュー。こどもたちにとって楽しみの一つです。今年も福岡県志摩町の二見ヶ浦海岸近くで行われました。テーブルに置いてある山盛りのお肉に野菜。こどもたちは大声を上げながら、その目の前のご馳走に手を伸ばしていました。夏の夕暮れを炭火の煙にまかれながら、食と会話で楽

しむ。こどもたちだけでなく、保護者もスタッフも皆が、少し日常から離れたこの時を楽しんでいました。さつきまでよそよそしかった子が、一つの網の上のお肉をみんなのお皿に乗せてくれました。ありがとう、とその子に言うところ、少し照れたようなはにかんだ笑顔を見せました。そして、別の子

がその子のコップに麦茶をついでくれました。こどもたちの手探りの友達づくり。見ていて何かほほえましかった。バーベキューの後、こどもたちは昆虫採集をしたり、かけっこをしたり、と新しく出来た友達と思い思いの時をおもいつき楽しみました。



バーベキューで交流を深めるこどもたち

守ろう！ 僕らの大事な地球

私たちの小さな夢がたくさんの人々の協力で大きくふくらみ、今日全国のこどもたちが福岡に集い、夢みるこどもキャンペーン第14回イベント「地球を守るために『こども隊』出動」を開きました。全国から集まったこども会議のメン

バーは、ほとんどが初めての出会いでしたが、森林を守る作業体験や環境についてのサミットを通じて、みんなの「地球を守りたい」という心が一つになり、友情の輪が広がりました。真剣に討論をしていく中で、いかに地球の資源が



こども宣言の発表

無駄に使われているか、環境が破壊されているかを実感することができました。

今、地球が泣いています。地球温暖化、森林伐採、排気ガス汚染など、地球が抱える問題は山積みです。これらの問題は、年々深刻化し、先日行われた北海道洞爺湖サミットにおいても最大のテーマとして取り上げられました。

何故、私たちの地球がこのような危機にさらされてしまったのでしょうか。地球には「自然の掟」というものがありました。宮澤賢治の童話にも、人間が森に入り木を切る時には必ず森に許しを請いました。「森に入ってもいいか」「いいぞ」「木を切ってもいいか」「いいぞ」

森は誠実に答えてくれました。人間も森と同じ地球に住む生命体として、お互いを認め、尊重し、感謝の心で共存しあっていたのです。そこには無駄な物は一切なく調和が保たれていたのです。これが「自然の掟」でした。

しかし現在、私達人間は自分のみの快適な生活ばかりを追求し、傲慢にも大自然を無視して一人歩きをしています。その結果、動物・植物はもちろんのこと、森、川、海、空など地球に存在する全ての生命体に影響を及ぼし、互いの共存が危うくなっています。

地球に優しくする事は友達、両親、お年寄りに接するのと同じです。相手が人間ならば、すぐ笑って「ありがとう」と答えが返ってきて嬉しくなります。

でも大きな地球では、すぐには返事がなく言葉で返してくれません。私達は目の前に見えている対象物だけでなく、はつきりとは見えない物、すぐには答えが返ってこない物にも優しさを持つべきです。

この優しさが必ず世界に繋がっていくと信じるべきです。一度ケンカした友達と仲直りする時や、信用を無くしてそれを取り戻すのには絶え間ない努力と長い年月が必要です。私達に裏切られて傷ついた地球も多くの人の協力のもとこれから未来にかけて誠実さを示せば必ずよみがえってくれるはずです。もしかすると地球からの笑顔の返事は次の世代まで引き継がれるかもしれません。しかし、答えを急いで求めず、辛抱強く『待つ』ということ、『諦めない』ということを忘れてはなりません。

昨日、私たちが成長を祈りながら行った松林での林業体験。その樹木たちから溢れ出る生命のエネルギーを感じました。両親が私たちに愛を振り注いでくれるように、これから自分たちの手で育てる木や森を温かく見守っていきます。この木が大きく育つ頃には私たちが地球を担う番。

命はつながっています。自然に生かされているという事は、自然から命を受け継いでいること。今度は私たちが、自然に命をふきこみます。その命を感じつつ、今日ここで芽生えた私たちの友情もこの木々達とともに確実に根付いていくでしょう。

同じ志を持つ仲間として早速今日から始めよう。まずは身近な所から難しい事など何もやらないでゴミの分別リサイクルマイバックにマイボトル物の命を最後まで感謝の心でありがとうみんな愛する緑のこども未来の自然は笑っている守ろう！僕らの大事な地球！

平成20年8月10日
第14回 夢みるこども

キャンペーン
「地球を守るために『こども隊』出動」参加者一同

環境保護をキャンペーンの 新しい柱にすることを決める



活発な意見がとびかった「こども会議」

第14回 こども会議 作文・絵の応募は4,363点

夏のイベントの内容を決める夢みるこども基金の第14回こども会議が3月30日、福岡市中央区天神のアクロス福岡で開かれた。

全国の小、中学生を対象に基金が募った「わたしのかなえたい夢」をテーマにした作文・絵の応募4363人の中から選ばれた29人と保護者、基金関係者、一般市民など約160人が参加した。

中村直理事長代行（福岡県歯科医師会副会長）が「こどもの夢を募り、実現するこのキャンペーンは世界的にもユニークなもの聞いています。このキャンペーンを支えている私たち歯科医師もこどもたちの応援団として、これからも一層のバックアップをして行きます」と挨拶した。

古市悟常任理事・事務局長（元スポーツ報知西部本社取締役編集部長）が作文について、平松暁実行委員（グラフィックデザイナー）が絵についての審査結果を報告したが、「どの作品にもこどもたちの熱い思いが込められており、審査に頭を悩ませた」と述べた。

入賞者の表彰があり、作文の部で最優秀賞になった東京都・六本木中1年富田光君と絵の部で最優秀賞になった福岡市・高取小4年坂口まりあさんが作品を紹介した。

「こども会議」はアグネス・チャン基金理事と中原淳一JR東海課長がコーディネーターになって開かれた。まず、アグネス理事が「環境破壊で世界のこどもたちが苦しんでいます。いま地球を守る取り組みをしないと大変なことになる」と話した。

こどもたちは自分の作品に込めた「夢」を熱く語った。今年の応募作品の約3割が地球温暖化や環境保護だったため、基金の新しいテーマとして位置付けてイベントを行うことを申し合わせた。地球を守るためにどのようなことをすればいいかについていろいろな意見が出た。その中には基金のこどもたちが全国の仲間呼び掛けて、行動を起こすために「環境こども新聞」を作る話も出た。

結局、長期的な取り組みをするために、夏のイベントの中で「環境こどもサミット」を開き、計画を話し合い、決定することになった。

◇応募総数 4363点
(作文2633点・絵1730点)

◇入賞の内訳

【作文】

▷最優秀賞 1
▷優秀賞 2
▷特選 6
▷入選 16
▷佳作 170

【絵】

▷最優秀賞 1
▷優秀賞 2
▷特選 6
▷入選 15
▷佳作 86

第14回「わたしのかなえたい夢」作文・絵コンクール 最優秀作品

作文の部・最優秀賞

僕の叶えたいこと

東京都・六本木中学校1年

富田 光



僕の妹は障害を抱えている。目も、耳も、話すことも、口から食べることもさえできない。

そんな妹に一度でも一瞬でもいい、真つ暗で何も見えない世界から、明るい大きな世界を見せてあげたい。今、妹がしてみたいこと思っていることなど、たくさんさせてあげたい。僕たち家族の顔やどんなところに住んでいるのかなど、思いつくものを全て教えてあげたい。自由にさせてあげたい。

「どうして大切な妹が、そんな悪い病気なんかにからなくちゃいけないかったんだよ」今まで毎日、毎日、そう思っていた。だけど、中学生になった今、やっとわかってきたように感じている。「障害を抱えているから何なんだよ」。本当にその通りだ。僕の妹ということにはかわ

りはないんだ。今まで、自分は何を考えていたのだろうか。妹に「今までごめんね」と言いたかった。

僕の家族は八人家族。家の中では、兄弟のケンカはもちろんのこと、チョッカイを出すなどは日常茶飯事だ。そんな弟や姉の中でいつも静かにしている妹は、「すぐぐえらいな」とつくづく思う。そして、妹はとても幸せかもしれないとも思う。僕たち家族に愛されているから。妹は「発作」という麻痺をしばしば起こす。それでも、麻痺が起きる度に、優しく「大丈夫」と僕たち家族みんなが言っただけからだ。

今なら胸を張って言えることがある。それは、僕はこの妹が生まれてきたおかげで、多くのことを学んだということだ。障害を抱えている人たちと僕たちは決してかわりがないということ。よくある障害者差別などはむしろおかしいということ。僕は妹から学んだように、さまざまな人々とみんな同じように向き合える社会だったらいいな。

絵の部・最優秀賞

福岡県・高取小学校4年
坂口 まりあ



私の将来の夢はエンデュランスという馬に乗って走るマラソンのような馬術競技に出場することです。特に、そのエンデュランスで

最も過酷とされるデヴィスカップに出場し、完走したいです。私は馬が好きなので、この夢はかなえたいです。





歯医者さんありがとう



私は前、虫歯になって歯医者さんにみてもらなければいけませんでした。みてもらう前は心臓が「バクバク」となっていました。でも、歯医者さんが「大丈夫だよ」と言ってくれて、私も頑張ろうと思いました。今は、口の奥でひそかに輝いている銀歯が私の自慢です。歯医者さんありがとうございました！

福岡・笹丘小学校 5年
藤崎 茜



歯が痛い時に心配してくれてありがとうございました。やさしい先生の笑顔で元氣になった気がします。

福岡・高見小学校 4年
山本 康介



こんな色々なイベントができるのは歯医者さんのおかげです。今年で3度目になりますが、前回より一段と楽しめました。いつも本当にありがとうございます。

大阪・松原中学校 2年
佐藤 広志



地域の人たちのことばかりでなく、世界中の困った人たちのことを考え実行している歯科医の先生方の生き方は私の目標です。

東京・東横学園中学校 3年
岡部 達美



歯医者さんが好きな人はあまりいないと思うけど、すごく大切な所だし基金にも協力してくれているからすごいと思いました。改めてお礼を言いたいです。

大阪・松原第三中学校 2年
西川 武志



この様な機会を与えて下さり、ありがとうございます。自分も与えられた分、大人になったらこういう機会を与えられる人になりたいと強く思いました。

兵庫・大阪女学院中学校 3年
嶋津 舞香



歯のみがき方や虫歯予防のし方を教えてくれてありがとうございます。おかげで、もう虫歯にならなくなりました。これからも続けていきたいです。

広島・高陽高等学校 1年
坂本 美樹



体験を通して、この温かい心が世界中の皆に届くとどんなに良い事かと思いました。歯医者さんのおかげで夢が芽生えてきました。とうとう夢実現に一歩踏み出せました！

大分・大分中学校 1年
赤峰 彩梨



こども会議で全国の仲間たちと出会え、視野が広がった気がします。歯科医の先生方、素晴らしい経験をありがとうございました。

埼玉・黒浜中学校 1年
中原 隆世



私達の夢を実現する為、協力して頂き有難うございました。そして、この賞に入賞した事で沢山の人の出会い、交流できて良かったです。

大阪・池田中学校 1年
濱屋 江里



僕の夢だけで終わらせてはいけません！歯医者さん達が金属冠をリサイクルされている様に、みんな地球の命を守っていかねば！！

福岡・城南中学校 2年
堀江 健一郎



ぼくは、この夢みるこどもキャンペーンにおいて最優秀賞をいただき、とてもうれしく思っています。これも歯医者さんご支援があったからだと思っています。ほんとうにありがとうございます。現在、歯列矯正中のため、大変身近に感じています。この運動がもっと広がるよう、小さいですが、ぼくの周りの人たちや、お世話になっている歯科の先生に知らせていこうと思います。

東京・六本木中学校 2年
富田 光



夢みるこども基金のイベントに参加して、全国に友達ができました。もっともっととぶやしていきたいです。歯医者さん、これからも応援して下さい。

福岡・愛宕小学校 6年
荒木 貴和子



大阪の8020の絵画コンクールで入選に選ばれました。僕はこれからも歯医者さんにきちんと行って、80才になっても20本の歯をもつようにしたいと思います。

大阪・南住吉小学校 6年
高瀬 飛天



金属冠の寄付ありがとうございます。私たちの夢が叶うのも歯科医の先生方のおかげです。これからもよろしくお願いします。

熊本・本渡中学校 1年
河野 里歩



歯医者さん達の御協力により、夢や希望の支援をして頂いてありがとうございます。これからもこども達の笑顔のために頑張ります。

東京・蒲原中学校 1年
林 桜子



歯医者さんをはじめ、多くの人たちの協力のおかげで貴重な体験ができ、感謝しています。

佐賀・打上中学校 1年
中里 真知子



いつも優しくいてねいに治りょうをしてくれて、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

大阪・遠里小野小学校 4年
工藤 晃平



歯医者さんのおかげで僕の夢が叶いました。僕は社会のみんなの役に立てるよう頑張ります。歯医者さん本当にありがとうございます。

和歌山・安原小学校 6年
濱石 雄嗣



普通では出来ない経験が出来てとても嬉しいです。みんな大きな夢を実現させました。

福岡・京町小学校 6年
伊藤 広貴



歯医者さん、貴重な体験をありがとうございます。これからたくさんの「夢」を見て行きたいです。

福岡・桜原小学校 6年
高野 愛花



歯医者さんのおかげで楽しいイベントに参加できて、いろいろな人の話が聞けました。ありがとうございます。

福岡・下庄小学校 6年
田中 健士郎



私は授業で運動する時も歯の力が重要だということを初めて知りました。歯には色々な力があり、歯を治してくれる歯医者さんすごいと思いました。

福岡・片江小学校 4年
佐藤 桃香



ぼくはいつも歯医者さんに感謝しています。健診のたびに虫歯になっていて、治りょうしてもらいます。もっと歯みがきの習かんをつけなければいけないと反省しています。歯医者さん、ありがとうございます。

福岡・西新小学校 5年
原田 和季



歯医者さん、金属冠を寄付していただき、ありがとうございます。私は被災地やアフリカなど、世界のどの国の子どもたちも夢を見られるといいと思います。

福岡・高取小学校 5年
坂口 まりあ



ぼくは歯のきょうせいで歯医者さんにお世話になっています。その歯医者さんが、ボランティア活動に協力していることにおどろきました。歯医者さんありがとうございます！

福岡・西新小学校 5年
樹本 武志

夢みるこども基金 寄付一覧表

寄付金内容	金額	寄付金内容	金額
平成 7年 8月 24時間テレビ愛は地球を救う	300,000	平成15年10月 イラク・アジアエキュメニカル奉仕会	300,000
平成 9年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成16年 6月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(北・機代20万を含む)	300,119
平成10年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設費)	2,000,000	平成16年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成10年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成16年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成11年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設補助金)	600,000	平成17年 1月 新潟県中越地震	3,000,000
平成11年 8月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,000	平成17年 4月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	3,000,000
平成11年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成17年 6月 スマトラ沖地震	2,000,000
平成11年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成17年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成11年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	103,700	平成17年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成12年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	300,006
平成12年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成18年 7月 江田果瑠奈さん(心臓移植手術)	100,000
平成13年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成13年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成18年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成13年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	2,000,001	平成19年 2月 九州盲導犬協会(盲導犬一頭)	1,800,000
平成14年 3月 8020推進財団	2,000,000	平成19年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	1,000,000
平成14年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成19年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成14年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成19年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成14年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,116	平成20年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成15年 1月 九州盲導犬協会(盲導犬一頭)	1,800,000	平成20年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成15年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成20年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成15年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000		
平成15年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	140,411		
		合 計	26,044,353

夢みるこども基金は、こどもたちの夢の実現という本来の目的の他に、バングラデシュの「夢みるこども基金学校」の建設・支援、盲導犬の贈呈、海外を含む地震被災地への義援金、福祉教育関係などへの助成、日本歯科医師会の「8020財団」への拠出など行っています。

今年も「夢みるこども基金学校」へ50万円、ネパール歯科医療協力会に30万円、福岡・ネパール児童教育振興会に10万円を寄付しました。特に夢みるこども基金学校への寄付総額は1000万円を超えました。

夢みるこども基金学校には平成10年に校舎建設資金200万円を寄付し、平成12年に小学校を開校して児童239人でスタートしました。その後、基金からの寄付を頼りに平成15年には中学校(生徒133人)を増設、さ

寄付金

夢みるこども基金学校への支援は1000万円を突破

らに平成18年には高校(同100人)を開校して、現在小、中、高校の計850人が在籍しています。

国からの補助金などは一切もらわず、基金を始め国内外からの寄付と、こどもたちから徴収する授業料で運営を続けています。従って独自の学校運営ができるのが強みで、国が実施する優等生選抜試験などでも優秀な成績を上げています。国内でも注目される学校になつて遠方からの入学希望が目立っています。

基金学校は将来的には教員を養成する大学も作る構想を持っています。基金でも、この学校からバングラデシュの新しい国づくりを担う人材が輩出することを期待して継続的な支援をすることになっています。基金の海外での活動のシンボルでもあると思います。

お願い

前回からこどもたちの「歯医者さんありがとう」に対し、「歯科医からこどもたちへのメッセージ」コーナーを設けました。協力歯科医院の先生方からこどもたちへ励ましや人生のアドバイスなどを頂くものです。今回は投稿して下さい方がいらっしゃいませんでしたが、こどもたちも楽しみにしているようですので、ぜひご協力をお願い致します。住所、歯科医院名、氏名、顔写真付きで50～100字程度(長くなっても構いません)を基金へお送り下さい。

キャンペーン14年の歩み

第2回「阿蘇こどもみどり村」



熊本県・阿蘇で開催。こども会議のこどもたち、筋ジストロフィーの少年たち、阿蘇のこどもたち、関係者ら総勢約200人が参加。雄大な自然の中で交流を深めた。

H8.7/25~27

第1回「阿蘇こども出合いの里」



熊本県・阿蘇で開催。阪神大震災で両親を亡くしたこどもたちを阿蘇に招き、ホームステイ。こども会議のこどもたちや地元の子どもたちと大自然に触れ、交流を深めた。

H7.7/27~29

第4回「夢の放送局」



福岡市・キャナルシティ博多のサンプラザで開局。こどもたちの夢トークや、筋ジストロフィーの少年バンドによるライブが行われた。また、市内中心部をラブウォークし、バンクグラデシ

H10.7/24~25

第3回「世界のこどもと手をつなごう」



福岡市・大手門会館で開催。バンクグラデシユのカラムディ村から先生とこどもの計3人を招き、関係者も含め総勢約150人が参加。カラムディ村に「夢みるこども基金学校」の建設資金を贈呈した。

H9.7/21~22

第6回「アフリカの大地に根付け こどもたちの願い」



福岡県・宇美町の農家で開催。内戦で苦しむアフリカ・スーダンに贈る食物の種子を収穫し、ユニセフを通じて現地に送った。その後、竹馬、竹とんぼも作り、こども全員で遊んだ。翌日、児童養護施設に贈呈した。

H12.8/6

第5回「ケーキがつなぐ友情の輪」



熊本県・南関町で開催。第1回のイベントに参加したこどもたちや、当時のホームステイ先の方々などと一緒に大きなケーキ作りに挑戦。出来上がったケーキを児童養護施設へプレゼントした。

H11.8/8~9

第9回「日本の心をイラクのこどもたちへ」



福岡市・アクロス福岡で開催。日本古来の遊具・竹馬、竹とんぼ、こま、折り紙、お手玉、パッチワーク、教材費をイラクのこどもたちへ贈った。

H15/8.3

第8回「世界のこどもたちと交流」



福岡市・ベイサイドプレイスで開催。「歌・踊り・食・遊び」を通して国際交流をし、食の交流で一般市民から頂いた食事チケットの代金を九州大学留学生センターに寄付した。

H14/8.4

第7回「バリアフリーの社会を作ろう」



福岡市・TNC会館で「こどもシンポジウム」を開催。バリアフリーについてのこどもたちの意見をまとめ、小泉首相や行政機関に届けた。また、福岡盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した。

H13/8.5

第11回「キャンペーンのふる里で新潟・山古志、福岡・玄界島の震災地の友と交流」



熊本県阿蘇・高森町で開催。こども会議のこども15人、新潟・山古志のこどもたち25人、福岡・玄界島のこどもたち30人、それに地元の子どもたちも加わり総勢123人のこどもたちが参加。ホームステイ、キャンプファイヤーなどで交流を深めた。また、参加できなかった山古志と玄界島のこどもたちに、木工品を手作りし贈った。

H17/7.31

第10回「こどもたちが結ぶ10年の夢」



福岡市・アクロス福岡で開催。10回目の記念イベントとして第10回の「こども会議」のこどもたちに、1回〜9回のイベントに参加したこどもたちも加わり、総勢52名のこどもたちが参加。全員で高さ18m、全長12mの巨大な張り絵を製作した。また、福岡盲導犬協会へ2頭目の盲導犬の目録を寄贈した。

H16/8.1

第13回「夢と希望をメロディーに乗せて〜こども音楽祭」



福岡市・都久志会館で開催。ハンデを乗り越えて夢と希望を忘れずに頑張ろうというテーマのもと、こどもたちの合唱や居合道、太鼓演奏などで盛り上がった。また、こどもたち18人とアグネス・チャン理事はイベントに先立ち、福岡県西部の地震で被害を受けた同市・玄界島を慰問した。

H19/8.5

第12回「いつか笑いがモノを言う〜人生は笑顔から〜」



福岡市・電気ホールで開催。「笑い」をテーマにした絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。また、作文の最優秀賞に選ばれた江田君の姉・果留奈さんがドイッで心臓移植手術を受け、そのために募金の応援をし、基金から寄付金を贈った。

H18/7.30

協力歯科医院数(都道府県内訳)

県名	医院数	県名	医院数
福岡	289	静岡	12
東京	149	栃木	11
鹿児島	52	愛知	10
山口	52	香川	10
大分	50	群馬	10
神奈川	49	岩手	9
兵庫	47	山形	8
熊本	39	長野	8
北海道	39	岐阜	7
埼玉	39	愛媛	6
長崎	38	奈良	5
千葉	38	山梨	5
佐賀	35	島根	4
福島	25	福井	4
宮崎	24	石川	4
大阪	20	京都	3
茨城	16	滋賀	3
宮城	16	徳島	3
沖縄	15	高知	2
広島	15	鳥取	2
岡山	14	和歌山	1
新潟	14	秋田	1
青森	13	富山	1
三重	12		

平成20年10月17日現在 合計1229件

※協力歯科医院が前回の基金日より341件減りました。廃業や一部の歯科医師の基金に対する妨害による辞退などによるものですが、今回は設立時などに登録していたが、一度も金属冠を出していない医院について意思の確認をし、同意を得られた分についてはリストから外しました(いつでも復帰してもらうために記録は残しています)。

第14回「地球を守るために『こども隊』出動」



福岡市・福岡明治安田生命ホールで開催。地球環境保護をテーマに「環境こどもサミット」を開き、林野庁から貸与が提案されている佐賀県内の国有林を「夢みるこども基金の森」とし、どのような使い方をするかなどアイデアを出し合ったり、環境こども新聞の発行を決めた。また、バナナの叩き売り口上や障害者を持つこどもたちなどによる劇を手話ダンスなどで盛り上げた。サミットに先立ち、イベント前日にはこどもたちが佐賀県唐津市虹の松原で林業体験作業を行った。

H20/8.10

「こども隊」の活動

① 作文・イラストの募集

毎年、「わたしのかなえたい夢」をテーマに公募。対象は全国の小学生〜中学2年生まで

② 審査

「夢みるこども基金」理事会・実行委員会にて作文・イラストを審査し入賞者を決定

③ こども会議

春休みに入賞者を招待し福岡市内で「こども会議」を開催。夏休みに行う「夢のイベント」を決定

④ 夢のイベント

夏休みに「こども会議」のメンバーを招待し、夢を実現させるイベントを開催

3団体の活動報告

バングラデシュ「夢みるこども基金学校」

日本側責任者 ラフマン・モクレスール

《現 状》成績による学校評価

バングラデシュでは学校評価のパロメーターといえば中学校と高校の卒業試験の合格率です。また5段階評価でA+をとっている生徒は何名いるかとのことです。（ちなみにバングラデシュでは教育の一定の水準を保つために全国レベルで教育委員会によって試験が行われ、成績も発表されるのです。名門高校に入学するとき中学校の成績がA+でなければ願書さえ提出できない、同様に名門大学、特に医科大学や工科大学に願書提出条件は中学校と高校両方の成績はA+であること）。2008年の中学校卒業試験の全国合格率は70.41%ですが、こども基金学校の合格率は90%です。またその中でもA+とAの成績を合わせると81%に上ります。高校卒業試験合格率の全国平均は74.85%ですが、今年初めて受験した基金学校の高校の合格率は92.50%です。客観的にこのように学力の面でこども基金学校は地域で名門校として位置を固め、しっかりした足取りで進んでいます。

《現地訪問中の交流》

バングラデシュと手をつなぐ会の6名のメンバーは今年8月16日から26日までカラムディ村を訪問し、20日の朝9時から基金学校の生徒や先生たちと交流してきました。今回の訪問団員の中の3名は大学生でした。彼女たちは低学年のクラスに入り、生徒たちと一緒に折り紙したり、風船で遊んだり、いろいろと交流しました。とても楽しいひと時だったと聞いています。また代表の二ノ坂さん、大学教員の能木さんと私は8年生のクラスに入り、少し時間をとって生徒とゆっくり話をしました。その前に今回こども基金主催の絵のコンクールで入賞したこどもたちに表彰状と賞品を渡しました。みんなはとても喜んでくれました。

私たちに對する何か質問がないかと聞いたところ次々と質問が飛んできました。その中に日本の季節、日本のこどもたちはどのように教育を受けるか、進学は、給食、授業時間、学力テストなどについてでした。また二ノ坂さんが「将来何になりたい」と質問したら37名のうち11名は「医師になりたい」と答えました。11名のうち9名は女の子でした。また一人の変わった生徒がいて、「将来旅行者になってアフリカ大陸を歩いてみたい」と自分の希望を言ってくれました。とても感動しました。

《課 題》

午後から先生たちと意見交換をしました。場所は高校の2階の教室です。前も後ろも広々野原、その真ん中にできている高校の建物。窓もドアもなく、風がピョンピョンと吹き、夏の暑さを忘れさせ、気持ちよく昼寝の快適な場所。しかし冬になるとその風が逆効果します。今年1月に半数以上の生徒が風邪を引き、一時学校を閉鎖せざるを得ない状況もあったようです。また教室の中や壁がぬれていたのも、なぜぬれているの聞いたところ、窓もなく壁もペンキ塗りをしていないので、雨水が流れてきているといわれました。また仮設トイレも建物から離れているので、特に雨の日、生徒は困っていると聞きました。年頃の女子生徒にとって最悪な状況です。一日も早くこの問題を解決しなければなりません。

そのほか、教員の給料が安く、それも毎月定期的に支払われていない、結果的に能力のある教員は定着しないとのこと。数学の教員は昨年3人も交代したと聞きました。教員が頻繁に変わるとその影響はもちろん生徒の教育に及ぼします。質の高い教育を目指している学校は質の高い教員を定着させなければ目標が目標のまま終わる恐れがあります。もちろん施設や設備の面でも、様々な問題がありますが、これら一つ一つを解決していきたいです。基金の皆さんのご協力よろしくお願いします。



夢みるこども基金学校の高等部の校舎



基金からの絵の入賞の表彰を受けるこども

NPO法人福岡・ネパール児童教育振興会

理事長 篠隈 光彦

「ネパールのこどもに教育のともしび」をテーマに掲げ、支援協力の広報を10年間行なってきた結果、多くの企業団体、一般市民の方々のご賛同をいただき、ニルマルボカリ村の教育環境は著しく発展しました。「夢みるこども基金」には10年間継続して多額の支援金を賜りましたが、特にこどもの将来にピンポイントを含めた活動目的が同様であることもあって、具体的なイベントや強いネットワークなど多くのことを勉強させていただきました。さて、ニルマルボカリ村への資金援助は2009年3月をもって期間満了を迎えます。事業着手当時は初等教育レベルの改善を目標に、実態の理解が深まり、2年保育の幼稚園と1年から10年生までの教育システムと教育設備を整えて参りました。校舎はネパールの農村において、自慢できる建物です。学校の評判も関係者の努力のおかげで学業レベル、衛生面、道徳感など上々です。残る課題は運営資金の獲得だけですが、ネパール振興会は今年までのように100%の資金援助をしないことを決定致しました。10年の間に礎を築くことを村人の使命だと考えていたからです。

ネパール歯科医療協力会

理事長 中村 修一

ヒマラヤの王国ネパールでの活動は1989年に始まった。活動は今年で20年を迎える。ミッション派遣は21回を数え、これまでネパールの異なった19箇所のフィールドで活動を展開したが、現在はフリットプル郡の8つの村で地域歯科保健開発を実施している。20年間で歯科診療総数は14331人、ヘルスケア実施数は76814人で合計91145人を数える。ミッションに参加した隊員数は延べ607人で、女性は39.9%を占める。職種は歯科医師（医師2名を含む）46名、歯科衛生士19.5%、研究者11.8%、看護師34%、学生12.7%その他57%である。将来の歯科界を担う学生諸君に参加してはもう事は当初から目標である。幸いしては毎年度欠かす参加所属学部は歯学部10、医学部4、看護福祉学部4、歯科衛生学院2、栄養学部1、その他4である。

テチョー村ヘルスプロモーションセンターの外來診療室は8台の診療ユニットを設置でき、歯科診療には多くの診療器材や電源の確保

様々の要因があったことは確かですが、村人は礎を構築できず、支援継続を口にします。何としても支援に頼ることから脱する方法をみつかるべきです。今後はニルマルボカリ村コーヒ栽培支援事業として、村内にコーヒの樹を10万本植樹する目的のために尽力致します。2008年9月現在、約2万本が生育しており、2012年までに達成したいと考えています。3年前にニルマルボカリ村の初摘みコーヒー150kgが日本に輸入されました。昨年は360kgに増量され、今年も増産されることを期待しています。ネパールで美味しいコーヒーが採れることも多くの人の知るところになりました。貧困家庭に現金収入の道を切り開き、教育資金を支払える環境を整えるという間接的な児童教育支援になります。当初の目的を忘れてはなりません。世界中のこどもたちが笑顔で暮らせますように心から願致します。

最後に、毎年主催されるこどもを中心としたイベントにいつも感動致しております。今後益々のご発展を祈念申し上げます。

保、診療空間の確保が必要となる。テチョー村ヘルスプロモーションセンター2階の倉庫に機材を保管しており、日本からミッション派遣時に消耗品などの補充機材を搬入している。学校歯科保健は1994年から開始、現在、歯科検診、健康教育、フッ素塗布、12歳児検診、充填などのプロジェクトを実施している。21年度で学校保健と健康教育、フッ素塗布指導や栄養教育は19校1273人、12歳児検診充填は400人、フッ素塗布は47校6860人を対象に行っている。

1994年から現地ローカル・リーダーを募り口腔保健専門家養成プロジェクトを開始した。プロジェクトは順調に進み、これまでに参画したボランティアは508人を数える。卒業した専門家は自分の村の小学校で自立型学校歯科保健を実施している。

これらの活動には資金が必要で、「夢みるこども基金」からの支援金はプロジェクト遂行に有り難く運用させて頂いており、深く感謝したい。



様々な分野で活躍するOB・OGたち

これまでに夢みることも基金のイベントに参加したこともたちは230人です。
一部の人たちは社会人として働いており、全員、いつも自分の夢に向かって一生懸命生きています。
作家としてデビューした大学生と数々のコンクールで入賞を続けている高校生を紹介します。

数々の作文コンクールで入賞

私は中学1年の時に夢みることも基金で表彰され、これをきっかけに様々なコンクールに応募してきました。昨年はWWF（世界自然保護基金）主催の作文コンクールで最優秀賞を受賞し、副賞でスウェーデンに一週間行ってきました。夢みることも基金の作文コンクールをはじめ、様々な場所で多くの人と出会い、貴重な体験をしてきました。それらは今、私の“輝く財産”になっています。

みなさんはどのような時に作文を書きますか。学校の宿題にしても何かのレポートにしても、書いているときにみなさんはきっとこのように思っているはずですよ。「誰かに伝えたい！」と。私は今まで何かを書いてきたときに、様々なテーマについて自分の知識を最大限に使って考え、そして、新たな知識を取り入れてきました。どうすれば相手にメッセージを送ることができるのか、どのように伝えればいいのか。今、私にとって貴重な体験をしてきたことよりも作文を書くことで自分の知識を一つずつ増やし、自分の目で成長していることを感じられた時の方が喜びを感じるのです。一つの物事をじっくり考えてみると、きっとそこには昨日までのあなたに見えていなかった世界が広がっているはずですよ。

（福岡県・筑紫女学園高等学校2年 第11回生 ラフマン・シャハナ）

ラフマン・シャハナの主な入賞歴

2006年9月 福岡花ライオンズ主催 弁論大会 優秀賞
2007年4月 日本新聞協会主催 HAPPY NEWS 2006 中学生の部 最優秀賞
2007年9月 野村総合研究所主催 NRI 学生小論文コンテスト2007 高校生の部 優秀賞
2008年2月 WWF ジャパン・ポリボ・カース・ジャパン主催
第16回全国中学生・高校生「かけがえのない地球を大切に」作文コンクール 最優秀賞

果瑠奈さんの手術成功 基金に報告の手記

夢みることも基金のみなさまへ

2年前、皆さまのたくさんの真心をいただき、ドイツへ渡航してから1年半、今年ようやく心臓移植を受けて無事帰国ができました。

ベッドで皆さまの話を聞けばかりだった私が、今ではようやく復学をはたし、バスの乗り方も覚え、自分の足で病院も学校も通えるようになりました。世界に参加するというのが、一緒に楽しむということが、こんなに幸せなことなのかと、明日が来るのが楽しみになりました。

皆さまの心をお預かりして命をつないでいただいた今、今度は私が誰かの支えになれるようにがんばりたいと思います。

大きな未来をありがとうございます。

博多青松高校通信制2年目 江田 果瑠奈

一手術までの経過一

果瑠奈さんは、平成18年の作文の部・最優秀賞を受賞した江田健太郎君の姉。先天性の心臓病で、幼い頃から何度も手術を繰り返してきたが、心筋の弱化により3年前に医師から心臓移植の道を宣告された。果瑠奈さんは国内で移植手術を受けて元気になりたいと頑張ってきたが、体力の低下に伴う症状の悪化により、平成18年5月、海外での心臓移植を決意した。手術費、渡航費、滞在治療費など多額の費用が必要となり、福岡市内などの街頭で募金活動を始めた。

ことも基金のこともたちも同年のイベントの際に、来場されるお客さんにチラシを配り、募金呼びかけ。そして、基金から10万円、アグネス・チャン理事から5万円、イベントに出演したマジシャンの伊藤実喜医師から2万円が寄付された。

果瑠奈さんは平成18年9月19日にドイツにある「バードユーンハウゼン心臓病センター」へ向け出発した。ドナー（臓器提供者）が現れるのを待って、平成20年1月に移植手術を受け、元気になって帰国した。



福岡県・筑紫女学園短期大学1年
第6、8回生 平松 沙真

こみあげる涙と
『謎の森』を信じていたい
小さな気づきと出会いの積み重ねから、私の心の中に『謎の森』ができてきたような気がします。千年先まで読み続けて欲しいです。

みなさん、こんにちは 沙真（さちか）です。本名、平松沙真です。現在、大学一年生19歳です。

2008年2月、ファンタジー小説「私は一本の木に恋をした」で、女子高中生小説家としてデビューいたしました。私は小学生の頃から、夢みることもキャンペーンに毎年のように参加していました。そんな中、第6回コンクール（平成12年）のイラストの部で優秀賞「楽しい絵本の世界の地球に」を受賞しました。また、第8回コンクール（平成14年）では、作文の部で特別賞「冒険パラダイス」も受賞しました。私にとって夢みることもキャンペーンに参加してきたことが大きな夢実現の要因になったような気がします。

私は小さい頃からいろんなボランティア活動に参加し、九州・沖縄の島々にはよく渡る機会がありました。福岡の大地震で被害を受けた玄界島の復興活動に参加することもありました。沖縄・竹富島をはじめいろんな島々で島人達のたくましさや力強さそして、自然との大切な関わり方などを学んだことが今回の小説の発想力の原点でもあったようです。

昨今、世界中でいろんな環境問題が深刻化しています。人間環境・教育環境も含めて私たち世代もとても心配事が多くなり不安な日々が続いています。そんな中、年代をこえて千年先まで読み続けられる小説になれたらいいなと思っていますし、願っています。

私は日常の生活で環境問題に対しては、地道な植物的な活動が一番大切だと日頃から思っています。一本の木に恋をして、生きる力や感動の日々を一本の木から学びとれていけたら、とてもいい世界になっていくのではないかと、人も自然も守られているのだから守ってほしいと——そんな願いを込めて発表させていただいた自然賛歌の純真小説『私は一本の木に恋をした』です。デビュー以来、福岡の書店では7週連続ベストセラー第1位に輝き、テレビ、新聞などのマスコミに取り上げられました。そして、2008年8月30日の24時間テレビ、FBSスペシャル「私は一本の木に恋をした」としての放送になったのでした。高校2年生の時に大好きな祖父の死や周囲の環境の変化に直面し大きな壁にぶつかり、不登校になって書き下ろした一遍の小説が多くの方々に感動と勇気を与えられた喜びを大切に、これからも頑張っていきたいと思っています。

新理事に森山日出夫氏

定期理事会

夢みることも基金の平成20年度定期理事会が5月28日、福岡市中央区大名の福岡県歯科医師会館で開かれた。

平成19年度の決算、20年度の予算事業計画、各種団体への寄付・助成金などの議案が満場一致で承認された。

理事会は、中村直理事長代行（福岡県歯科医師会副会長）が議長となり開会。中村理事長代行は「一部歯科医師による妨害行為は3年近くにわたって

いますが、関係者のご理解とご支援で基金は14年目に入りました。毎年、全国の小、中学生を対象にしている『わたしのかねえたい夢』の作文・イラストの応募は昨年度も4363点あり、

基金の理念、目的が全国のことでも、大人たちにも支持されていることが裏付けられていますと挨拶した。

議事は人事案件から始まった。理事の新任は森山日出夫氏（実行委員兼務、九州大学名誉教授、福岡国際大学国際交流推進企画室長、再任は木村潤氏（日本通運（株）執行役員、九州地域総括福岡支店長、長尾怜美さん（夢みることも基金OB・OG会会長、九州歯科大6年）、山中崇昭氏（同会代表、会社員）の3人。退任は中島喜盛氏（株）日本航空インターナショナル執行役員、九州地区担当福岡支店長の提案があり、承認された。

また、実行委員は下記の通り7人の再任と2人の退任の提案があり、承認された。

続いて、古市悟事務局長から19年度の活動や金属回収などについて報告があった。補綴金属の回収は252件、総重量は91、360gで件数、重量とも前年を少し下回った。河原英雄・元日本顎咬合学会理事長ら3人が基金に対する妨害を始めたのは平成16年11月からで、17年から協力歯科医院と金属回収の減少が始まり、金属回収リサイクル基金は約3千万円落ち込んだが、回収件数、リサイクル基金とも19年度は前年度にくらべて落ち込みが小さくなり、下げ止まった感じがする。

基金を後援している38都道府県歯科医師会の辞退も心配されたが、基金に後援辞退の申し入れがあったのは4件だけだった。

平成19年度（第14期）の会計について吉田雅俊顧問税理士が収支報告書、貸借対照表に基づいて説明をした。

第14期の収支報告書の当期決算額はリサイクル基金は8、072、285円、貸借対照表の売却待ち補綴金属は10、437、542円（平成20年3月31日現在の相場）になっている。この2つの金額を合計した18、509、827円が第14期の回収総額になる。14期にすべて売却する予定だったが、金属相場が上昇傾向にあったことを考慮して売却予定の一部を15期に延ばしたのは事務量増加によるアルバイト給が増えたため。

木村友則監事の「適正である」との監査報告があり、承認された。平成20年度予算案（15期）も原案通り承認された。

新年度事業計画では3団体に対する寄付について協議が行われ、バンダラデシユの「夢みることも基金学校」に50万円、ネパール歯科医療協力会に30万円、ネパール児童教育振興会に10万円を寄付することが決まった。

夏のイベントは8月9、10の両日、佐賀県唐津市の虹の松原と福岡市内で開催し、今年度から基金の新しい柱として地球温暖化対策、環境保護に取り組むこと、具体的な施策は環境こともサミットで決めること、さらに林野庁から国有林を借りて「夢みることも基金の森」をつくる計画などの報告があった。

最後に、平成16年11月から約2年にわたり、基金に妨害を続けて来た河原英雄・元日本顎咬合学会理事長ら3人に対する刑事告訴と民事訴訟についての経過と今後の対応についての説明があった。

河原元理事長ら3人を、名誉毀損と業務妨害で刑事告訴した件については福岡地検から5月16日付で不起訴処分とするこの報告があった。基金が地検に問い合せたところ、嫌疑不

十分の不起訴であることが分かった。また、河原英雄理事長らが基金の中村直理事長代行、古市悟常任理事・事務局長、八尋晋策常任理事の3人を名誉毀損（基金だよりで犯罪者扱いされたという主張）で訴えていた分も同じように不起訴になった。

基金としては捜査当局に対して、容疑を立証する膨大な資料を提出したのに、不起訴になったことは納得できないことが多く、代理人弁護士とも相談しながら福岡検察審査会に「不起訴不当の審査申し立てをする準備を進めることになった。

一方、民事訴訟は平成19年12月13日に河原元理事長ら3人を相手取り、福岡地裁に提訴した。損害賠償請求は夢みることも基金が3584万4752円、古市個人が3000万円の総額3884万4752円。その他に謝罪広告の掲載などを求めており、5月22日までに3回の口頭弁論が開かれたことを古市事務局長が報告した。



定期理事会。左端が新任の森山日出夫氏

定期理事会議事

- ①役員改選
- ②実行委員委嘱
- ③報告
- ▽平成19年度活動報告
- ▽平成19年度補綴金属回収報告
- ④平成19年度会計決算
- ⑤平成19年度監査報告
- ⑥新年度事業計画
- ⑦平成20年度予算案
- ⑧各種団体への寄付・助成金
- ⑨夏のイベントについて
- ⑩裁判の経過と今後の対応について
- ⑪その他
- ⑫新理事の挨拶

◆ 人 事 ◆

【理事・新任】
森山日出夫
（九州大学名誉教授、福岡国際大学国際交流推進企画室長）

【理事・再任】
木村 潤
（日本通運（株）執行役員、九州地域総括福岡支店長）

長尾 怜美
（夢みることも基金OG代表第1回イベント参加九州歯科大6年）

山中 崇昭
（夢みることも基金OB代表第2回イベント参加）会社員

【理事・退任】
中島 喜盛
（株）日本航空インターナショナル 執行役員九州地区担当福岡支店長

【実行委員・新任】
森山日出夫
（前記）

元岡 章
（日本通運（株）福岡支店ベリカンアロー課長）

【実行委員・再任】
今田 賢治
（福岡県歯科医師会事務局長）

内川 秀治
（製菓実験社九州支社長元フクニチ新聞文化部長）

中川龍比湖
（福岡県歯科医師会常務理事）

平松 暁
（グラフィックデザイナー福岡県産業デザイン協議会理事）

古市 悟
（元スポーツ報知西部本社取締役編集部長）

山中 崇昭
（前記）

山本俊三郎
（福岡博多東ライオンズクラブ会員）

【実行委員・退任】
丸山 昭浩
（元日本通運（株）福岡支店ベリカンアロー課長）

山下喜世弘
（香川県歯科医師会会長元日本歯科医師会副会長）（敬称略）

河原英雄氏ら3人に対する刑事告訴は不起訴に 検察審査会に「不起訴不当」の申し立て

夢みることも基金は平成16年11月から約2年にわたり「基金に疑惑、不正がある」などとして妨害を続けて来た河原英雄・元日本顎咬合学会理事長(67)Ⅱ大分県佐伯市Ⅱら3人を偽計業務妨害と名誉毀損容疑で刑事告訴していましたが、福岡地方検察庁は平成20年5月16日、3人を不起訴(嫌疑不十分)にしました。基金はこれを不服として、平成20年7月28日、福岡検察審査会に審査を申し立てました。

また、同地検は河原元理事長らが、基金の中村直理事長代行ら3人を「基金発行の基金だよりで犯罪者扱いをされた」として名誉毀損容疑で刑事告訴していた分も不起訴(同)にしました。

刑事告訴

基金が平成19年4月2日、福岡県警に告訴したのは河原元理事長の他、河津寛・元日本顎咬合学会理事長(58)Ⅱ東京都練馬区Ⅱ、増田純一・同学会員(66)Ⅱ佐賀県武雄市Ⅱ。

河原元理事長らは平成16年11月に「日本歯科医師会は旧橋本派への1億円献金事件で大きなダメージを受けている。歯科医療界を救うために基金の全財産(基金だよりに掲載されている9000万円)を新潟県・中越地震の被災者に全額拠出して欲しい」と要求して来ました。

基金が臨時理事会を開いて、審議し「献金問題の暗いイメージを消すために、基金の全財産を出せ」というのは発想がおかしい」と基金を拠出すると基金は存続の危機に瀕する」などとして、要求を認めなかったところ、この3人が中心になって様々な妨害を始めました。

「基金の運営、経理に不正がある。このまま放置すると大きな社会問題になるなどとして、当時の基金の理事長(日本歯科医師会会長)や理事長代行(福岡県歯科医師会会長)に質問書や要請書を何回も出して全

経理書類の開示などを要求しました。また、不特定多数の歯科医師に呼び掛けて会合を開き、基金に疑惑、不正があるかのように強調しました。そして、「自分たちのシミュレーションによると、基金に数億円の不正がある」などと公然と内容虚偽の事実を摘示した文書を配布しました。

基金の後援関係についても「基金は厚労省(発足当時は厚生省)などの後援を取っていないのにウソをついてキャンペーンを進めている」と騒ぎました。

河原元理事長らは特に経理について、疑惑、不正があるかのように強調し、横領、背任罪で刑事、民事両方で基金を訴えると言っていました。

河原元理事長らは基金から刑事告訴された約6か月後の平成19年10月15日、基金の中村理事長代行、古市悟常任理事・事務局長、八尋晋策常任理事の3人を福岡県警に逆告訴した際も、この点を強調しました。このため、福岡県警は基金に経理関係資料の提出を求め、精査しました。河原元理事長らが金属屑回収についても疑惑があると言ったので、基金の回収金属屑の精製を請け負っている金属業者の本社(東京)にも出向いて調査をしました。いずれも、疑惑、不

正はなかったため、福岡地検への送致は横領、背任ではなく「基金が発行した基金だより」に自分たちを犯罪者扱いするような記事を書いた、などという名誉毀損容疑でした。結局、河原元理事長らが主張していたような疑惑、不正は基金にはなかったということでした。

基金のように人格のない社団、財団などは法人税法規則99条(帳簿書類の整理保存)によれば、保存期間は5年乃至7年間にわたっており、ほとんどの場合はそれ以前の帳簿書類などは破棄します。しかし、基金は設立時からほぼ完全に保管しています。

基金は、福岡地検が基金の告訴を不起訴にしたことは納得できず、担当の検事に對して不起訴にした理由を明らかにするよう求めましたが、検事は応じませんでした。このため、福岡検察審査会に對して「河原元理事長らが各方面に発信した基金攻撃の多数の文書や会合についての関係資料、基金の経理関係資料など容疑を立証する膨大な証拠を提出したのに、検察官が嫌疑不十分として不起訴にしたことは不当である」との申し立てをしました。

検察審査会は国民の中からくじで選ばれた10人の審査員が検察庁から取り寄せた事件の記録を調べたり、証人を呼んで事情を聞くなどして、検察官の不起訴処分が正しいかどうかを審査します。そして「不起訴不当」とか「起訴相当」の議決をした場合は、検察官はもう一度事件を再検討し、結論を出します。

民事訴訟

河原元理事長らの妨害によって、基金は協力歯科医院や回収金属屑の減少など大きな損害を被っています。

彼らが「基金に疑惑、不正がある」「このまま放置すると大きな社会問題になる」

などと日本歯科医師会を始め、各方面に基金攻撃の文書や質問書を出したりしたため「基金には疑惑、不正がある」というイメージのイメージが歯科医療界に広がりました。特に基金の協力団体になっていた日本歯科医師会が「協力」を辞退、基金の規約で理事(理事長)就任が明記されている日本歯科医師会会長が理事就任も辞退しました。理事長代行を務めていた福岡県歯科医師会長も辞退しました。さらに基金の後援団体になっている都道府県歯科医師会のうち、秋田、熊本、山口、福岡の4県の歯科医師会も後援を辞退しました。

河原元理事長らが騒ぎ始めた平成16年11月以降、協力歯科医院、金属屑回収件数、回収総重量のいずれも落ち込みました。17、18、19の3か年度で協力歯科医院がマイナス533件、回収件数がマイナス272件、回収総重量がマイナス125、960gでした。

基金は平成19年12月13日、河原、河津、増田の3氏を相手取り「執拗に虚偽または根拠のない言動を行い、原告基金の信用を失墜させてその業務を妨害した」「古市事務局局長に對しては執拗に虚偽または根拠のない言動を行い、名誉を毀損した」として不法行為による総額約3884万円の賠償と謝罪広告などを求める民事訴訟を福岡地裁に提訴しました。平成20年9月11日までに計6回の口頭弁論が開かれました。

これに對し、河原、河津、増田の3氏は民事でも基金の提訴から約7か月後の平成20年8月8日、中村理事長代行と古市事務局局長を相手取り「基金発行の基金だよりに虚偽の事実を挙げて原告が妨害行為をしているかのような記事を掲載するなどして名誉を毀損して精神的苦痛を与えた」として、中村、古市の両名に對し、3人に対し各375万6000円の賠償と謝罪広告の掲載などを求める民事訴訟を福岡地裁に提訴しました。

現在、審理が進められているので、裁判の途中で一部を取り上げてあれこれと論ずるのをおかしいので、内容については裁判が終わった時に報告します。

【民事訴訟】

平成19年12月13日、基金が河原英雄・元日本顎咬合学会理事長、河津寛・同元理事長、増田純一・同学会員の3人を相手取り「執拗に虚偽または根拠のない言動を行い、名誉を毀損した」として、総額3884万4752円の賠償と謝罪広告の掲載などを求める民事訴訟を福岡地裁に提訴した。

平成20年2月7日第1回口頭弁論
平成20年3月25日第2回口頭弁論
平成20年5月22日第3回口頭弁論
平成20年6月24日第4回口頭弁論
平成20年8月8日第5回口頭弁論
平成20年8月8日、河原元理事長ら3人が基金の中村直理事長代行と古市悟事務局局長を相手取り「基金だよりに虚偽の事実を挙げて、妨害しているかの如く執筆掲載した」などとして3人に対し、各375万6000円の賠償と謝罪広告の掲載などを求める民事訴訟を福岡地裁に提訴した。
平成20年9月11日第6回口頭弁論

【刑事告訴】

平成19年4月2日、基金は河原英雄・元日本顎咬合学会理事長、河津寛・同元理事長、増田純一・同学会員3人が平成16年11月から約2年にわたり、「基金に数億円の不正がある」などと公然と内容虚偽の事実を摘示した文書を配布するなど基金のボランティア活動を妨害したとして、福岡県警に對し偽計業務妨害と名誉毀損容疑で告訴した。

平成19年10月15日、河原英雄元理事長らが基金の中村直理事長代行、古市悟常任理事・事務局長、八尋晋策常任理事の3人を「基金だよりなどで自分たちを犯罪者扱いした」などとして名誉毀損容疑で福岡県警に告訴した。

平成20年3月24日、福岡県警は河原元理事長ら3人を業務妨害と名誉毀損容疑で福岡地検に送致。また、河原元理事長らが基金の中村理事長ら3人を名誉毀損容疑で告訴した分も福岡地検に送致した。

平成20年5月16日、福岡地検は河原元理事長ら3人と基金の3人を不起訴(嫌疑不十分)にした。

平成20年7月28日、基金は福岡地検が河原元理事長らを不起訴にしたのは納得できずとして福岡検察審査会に「不起訴不当」の申し立てをした。

法的措置の経過

[illegible]

は回収月間です。

日通フリーダイヤル(0120-410202)

協力歯科医院のお申込みは、随時「基金事務局」で受け付けています。入会頂くと、直ちに日通のペリカン便でボスター、木箱、内ポトル2個をお送りします。金属冠はこの内ポトルに入れて頂き、日通のペリカン便でポトルのみ事務局へお送り下さい。

日通ペリカン便はいつでも出動OK

金庫冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に10月と11月を強化月間としています。少量しかたまためになくとも構いませんので、日通ベリカン便フィラッパイル（0120410202※回収箱の裏に伝えます）へ電話し、日通ベリカン便の方に「着払い」と伝えて渡して下さい。無料で運んでもらえます。直接、基金事務局（0927510021）へ電話されても結構です。

このキャンペーンを支えて頂いているのは、全国の歯科医院などから寄せられる金属冠ですが、前述のように輸送を担当される日本通運本社、各支店のご協力も大きな力になっています。基金発足当時から回収などの輸送は全額、日本通運本社が負担、全社員の皆さんにボランティアに参加頂いています。

業者に委託しての
回収はしていません

に対し、「夢みる」とも基金は「ぶれて日本聴覚総合学
大手の金属業者の社員が山形県内の協力歯科医院
会に変わる」と言っても、基金に提供することにな
っていた金属冠を持ち去る事件がありました。このの
院長と基金が業者に抗議したところ「営業社員の
思い違ひによるもので申し訳なかった」と謝罪し
た。この業者とは別に協力歯科医院を回って「夢
みる」ことも基金は寄付された金属冠を何に使って
いるか経理が不透明だなどと言って金属冠を持ち帰
った悪質なケースもありました。基金は提供してい
ただく金属冠を正確 クリアするために基金に直
接送って頂くようにしています。

が金設立時から国税局に相談し、指導を受けた上で業務を進めており、毎年度、協同歯科医院に対しては決算書などを送付しています。また、金属冠製作の委託を受けていた歯科医院等については、そのつど受領証と感謝状を送り、同時に基金の帳簿、パソコンに受領年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係で問題が生じた時も対応できるようになっていますのでご連絡下さい。

編集後記

腹立たしく不条理で、虚しい。気持ちにもなりますが、今回もこのことに触れないわけにはいきません。夢みることも基金はけませんが、約2年にわたり基金に対して様々な妨害を続けてきた河原英雄・元日本顎咬合会理事長ら3人を、偽計業務妨害と名誉毀損容疑で

ウトを除き、企画から取材、執筆まで大人の手は全く入っていません。こともたちの真っ直ぐで鋭い感覚に改めて驚き、感心しました。基金発足から14年になりましたが、私たちが設立時から目指して来た「こともたちによることもたちのためのキャンペーン」が一つの形になって来たという手心えを感じます。

そんな中で、こどもたちが今年（2017年）のイベントの「環境こどもサミット」で基金の新しいテーマとして環境問題への取り組みを打ち出したことは、基金の活動に大きく関わったことだと思えます。その第一歩が「環境こども新聞」の創刊です。こどもたちが自主的に企画の話合いをして、それぞれが環境への熱い思いを紙面につけてくれました。レイア

このようなキャンペーンを続けていけるのも、基金を支えて下さっている歯科医師の先生方のおかげです。いつも「基金の理念、目的に向かって頑張れ」と励まして下さっていることに感謝申し上げます。これからも、小さな胸に様々な夢を抱きながら一生懸命生きていることも、たちへの支援をお願い致します。

常任理事・事務局長

古市悟